

3月にSGH大学訪問、現地フィールドワークを実施しました。

SGH発展学習（国内大学との連携）

～国際政治・外交、日本の国際貢献を考える～

平成31年3月2日（土）広島大学平和センター、広島平和記念資料館

《目的》

大学で講義を受け、現地フィールドワークを行うことで、課題研究テーマへの興味・関心を喚起し、課題研究テーマの理解の深化につなげるとともに、次年度の課題研究につなげる。

《内容》

広島大学平和センターを訪問し、友次晋介准教授から、「**核廃絶に向けて何が可能か**」という演題で講義をしていただいた。NUKEMAPによる被害想定シミュレーションや、**安全保障のジレンマの概念、信頼の重要性**についてのお話をいただいた。**広島平和記念資料館**では、核開発からの核廃絶への取組や、遺品などの展示を見学し、**原爆・核兵器、平和への取組**についての理解を深めた。



友次氏の講義



平和記念資料館での展示見学



[参加生徒の感想]

平和センターでの講義は、そもそもなぜ戦争が起こってしまうのか、そして私たちが出来ることは何か考えさせられるものだった。戦争というものを知ってしまったからには、人として戦争をすべきではないと改めて思った。

私たちが知らないことがたくさんあることに驚いたと同時に、このままではいけないと感じた。まず日本人が戦争、原爆についてしっかりと知り、理解していくことが大切だと思った。

平和記念資料館を見学し、自分の想像していた以上に悲惨な現実言葉がでなかった。平和の尊さを改めて実感した。戦争・原爆の被害の大きさに驚いたのと同時に、そのことについてしっかりと伝承していくことが大切だと改めて感じました。

実際に被曝された方々の遺品や写真を間近で見ると、戦争の悲惨さを感じた。自分と同じような学生やそれ以下の小さい子供まで、誰もが苦しみを続けたことを知った。今を生きている自分たちがどれだけ幸せか、だからこそどう言うことを求められているのか、自分なりに深く考え学ぶことができました。